

<本資料をご覧の皆さまへのお願い>

本PDFは、2026年8月25日に株式会社COMPASSが開催したオンラインイベント
"つながる「CBT活用」と「探究的な学び」" において
ゲストの埼玉県ふじみ野市様およびCOMPASS（愛知県豊田市様、福岡県福岡市様の事
例紹介を含む）より発表した資料です。※記載の情報はイベント開催時点のものです。

イベント参加者の皆様との情報共有のために展開させていただいているものですので、
資料・資料内の情報の無断転載はご遠慮ください。

また、本セッションの様子はキュビナ公式Youtubeチャンネルに公開しています。
PDF内でご紹介できない動画の内容もご確認いただけますのでぜひご覧ください。
<https://youtu.be/KTnYZh4yjic>

※記載の情報、登壇者に関する情報はイベント開催時点のものです。

つながる
「CBT活用」と「探究的な学び」

SESSION 1 テストと日々の学びが“つながる”CBT活用実践事例

ふじみ野市がCBT活用で推進する 学習評価改善の取り組みと学校現場の活用実践事例



ふじみ野市教育委員会
学校教育課 指導主事

及川 恒平 様

登壇者紹介

モデレーター



株式会社COMPASS
未来教育室

板橋 和政

つながる
「CBT活用」と「探究的な学び」

ふじみ野市が取り組む 「CBTデザインプロジェクト」 と「キュビナ テスト」活用

学習評価改善からはじめる授業改善

ふじみ野市教育委員会
学校教育課 指導主事 及川 恒平



おいしい
野菜！



つながる
人と地域！



うれしい
利便性！



●川越市

ふじみ野市

●富士見市

●三芳町



- 1 学習評価改善の経緯
- 2 学習評価改善のプロジェクト概要
- 3 Qubenaテストの採用理由
- 4 Qubenaテスト活用の実際
- 5 今後のQubenaテストに期待

(省略) 学習の**過程**や**成果**を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。 ※小学校・中学校学習指導要領解説(H29)総則編

形成的評価

児童生徒一人一人の
つまずきや伸びについて
指導過程で評価するもの

授業の見取り 研究授業 面談 等

総括的评价

評定(指導要録)であり、
観点別学習状況の評価の
結果を総括するもの

評価規準作成 通知表 指導要録 等

①指導と評価の一体化は道半ば

指導と評価の一体化の促進

- ・形成的評価と総括的評価が依然として混同されている。

②評価場面の精選は十分進まず

評価場面の精選を！

- ・評価の説明のために過度な評価材料集めとなり、負担が大きい。

③多面的・多角的な評価は十分広がらず

多面的・多角的な評価を！

- ・テスト重視の評価が根強く、他の評価方法が軽視されている。

テストや成績に囚われた形式的・対策的な授業

ここ、テストに出るぞー



テストや成績付けに関する業務負担

提出物のチェック地獄…



④テスト教材費の保護者負担が大きい

保護者負担軽減を！



**テスト結果
を重視**



**テスト採点・集計
の負担**



**①プロセスの
見届けを重視
(形成的評価)**



**②単元テストCBT化
で他の評価方法も
充実させる**



ふじみ野市小中学校における学習評価の改善に向けて

改善の方針：「指導と評価の一体化」を一層推進

① 形成的評価の重視

子供が主体的に学ぶ
授業形態の浸透

これまでの学習評価観



結果を重視！



目指す学習評価観

② 多様な評価方法の確立

単元テストのCBT化
多面的に評価する評価基準

これまでの評価基準



テストを重視！



過程を重視！ テスト以外を重視！

目指す評価基準（例）

CBTデザインプロジェクト

プロジェクトリーダー

校長3名 教頭1名

オブザーバー

株式会社COMPASS様

小学校部会

各小学校から1名

中学校部会

各中学校から1名

CBT操作への慣れと
活用の浸透

CBT機能改善に係る
意見交換

CBTと紙を併用した
評価方法の在り方

多様な評価方法によ
る評価基準作成

AIドリル（本市が既に
導入している他社ドリ
ル）活用の浸透

多様な評価方法によ
る評価基準作成

②多様な評価方法の確立

単元テストのCBT化
多面的に評価する評価基準

これまでの評価基準

テスト	その他
-----	-----

目指す評価基準

テスト	ノート 記述	発言 態度	作成物	その他
-----	-----------	----------	-----	-----

教育委員会

できた“余白”で
テスト以外の
多面的な評価

教材費
負担軽減

すぐに返却され、見直しできる
多面的に認めてもらえる

進捗や状況を
踏まえた支援

CBT化で
テスト業務
(採点・集計)
の時間短縮

2学習評価改善のプロジェクト概要

学習eポータル + AI型教材



実施教科 学年	国語	算数	理科	社会	外国語
第4学年	○	○	○		
第5学年	○	○	○	○	○
第6学年	○	○	○	○	○

学習評価改善の際に留意していること



CBTだけで学習評価改善を行うものではない

CBTは紙のテストをそのまま代替する存在ではない

CBTのよさと紙のよさをそれぞれ生かして併用する
(漢字の書き取りや、算数の作図などは紙が適切か)

市として、教員、子供、保護者への学習評価観の
アップデートを進めていく



■機能面（学校にとって）



①自動採点・自動集計で業務効率化

・迅速な返却により、時間内に解説や振り返り、解き直しまで

すぐ結果が分かるので、
意欲的に学び直しへ！



今年度中に、Qubenaテストと
Qubena（ドリル）がリンク予定！



3Qubenaテストの採用理由

学習eポータル + AI型教材



■機能面（学校にとって）

②“教科書準拠”のレベルが違う

・目次だけでなく、問題内容までが教科書の内容と合致

学習したことが
ちゃんと問題に出てくる！



他社CBT製品



目次のみ合致

Qubenaテスト



内容まで合致

みずや
水屋

アーカイブ配信時は
非表示の画像です

類似した資料を掲載！
グラフや表などの数値も
教科書とほぼ同じ！





■機能面（学校にとって）

③選択問題に頼らない出題形式

・選択問題の割合をなるべく減らし、多様な出題形式

従来のテストのように
しっかりと記述も！



わたしたちが情 報を利用するときには大切なことは何か、「判断」という言葉を使って、短く1文で答えてみましょう。

記述

【例】自分で冷静に判断して、適切に生活に生かすようにする。

高橋さんが理緒にぼそりとつぶやいた言葉は何ですか。文章 中から五字でぬき出してみましょう。

抜き出し

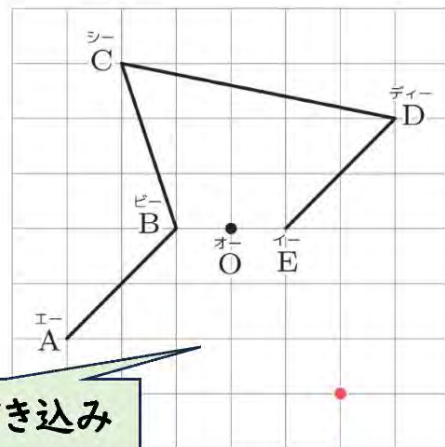
銀色の裏地

英文を聞いて、内容に合う絵を1つ選びましょう。

音声

残りの頂点の位置はどこですか。図にかきましょう。

タッチペン（ゆび）で書いてください



図への書き込み



■機能面（教育委員会にとって）

④教育委員会の管理者アカウントがある

教育委員会と学校との
連携向上！

・各学校の実施進捗や正答率等を把握し、より適切な支援へ





■連携面

⑤意見・要望をしっかりと聞いていただける

現場の声を
しっかりと聞いてほしい

・ニーズを踏まえて伴走的に支援くださる体制がある



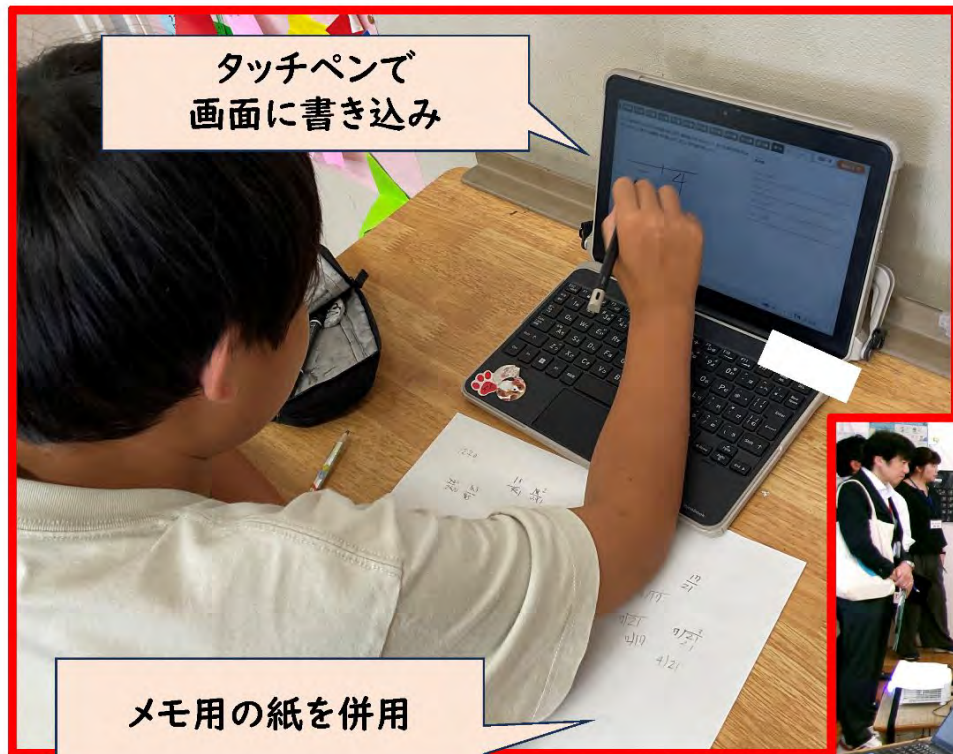
4Qubenaテスト活用の実例

タッチペンで
画面に書き込み

メモ用の紙を併用

教師PCから
各児童の進捗をチェック

従来と同じように
テストの隊形で



4Qubenaテスト活用の実際

1時間(45分間)のおおよその流れ

テスト配信	テスト実施	テスト返却	各自の課題
5分	20～25分	5分	10～15分

テスト結果を踏まえ、教科書やドリルの類似問題などに取り組む

学級の正答率の低かった問題について解説することも

従来の紙のテストと同様、単元末に実施

CBT実施のタイミング・時期

第1時	第2時	...	単元末
			CBT実施

採点・集計が自動化され、
業務が軽減された

観点別に集計されるので、
成績付けがスムーズ

授業時間内にテスト返却まで
完了でき、授業時数の圧迫が
軽減された

すぐにテストを返却すると、
子供が意欲的に
振り返りや復習に取り組む
ようになった

他の業務の時間を
生み出すことができた



保護者が安心する機能を

例：保護者へのテスト実施通知

保護者アカウントでQubenaテストにアクセス

いつ、何のテストをしたのか知りたい
テスト結果や解答内容の子供と振り返りたい



問題の視認性の向上を

例：文量とレイアウト改善で、文字サイズ拡大とスクロール不要へ
問題文と関連したイラスト等の記載
動画やアニメーション等による出題



文章だけでなく、
視覚的に読み取
れるように

動画など、CBTならではの出題形式を

問題文読み取りの負荷を軽減し
解答に力を注がせたい



市民ができることとして正しいものを、あとから2つ選びましょう。

- ア 市民は、市長と市議会議員の両方を選挙で選ぶことができる。
イ 市民は、国会議員を市議会の会議で選ぶことができる。
ウ 市民は、市長の推薦があれば市議会議員に立候補することができる。
エ 市民は、市議会に請願をしたり、議会を傍聴したりすることができる。



問題の一覧性の向上を

見通しをもって計画的に
解けるようにしてあげたい



例：1ページ目に問題全体を見渡せるページの搭載
大問、小問合わせて問題数分だけタブの搭載

理科 単元テスト - 第2単元 植物の

記号選択

1. 植物が育つために必要なものはどれですか？

- A ☐ 光 B ☐ 水
C ☐ 土 D ☐ 空気

2. 光合成によって植物が作り出すものはどれですか？

- E ☐ デンプン F ☐ 二酸化炭素
G ☐ 窒素 H ☐ ミネラル

3. 植物の根の主な役割はどれですか？

- I ☐ 花を咲かせる J ☐ 水を吸収する
K ☐ 光を浴びる L ☐ 葉を大きくする

単語・短文

4. 植物の「葉」はどこから水分を蒸散させますか？

きこう（気孔）

5. 植物が昼間に最も吸収する気体は何ですか？



テスト全体を視覚的に見渡せるページを
設けて、どこからどのように解くか見通し
をもてるように



観察の結果と気づいたこと



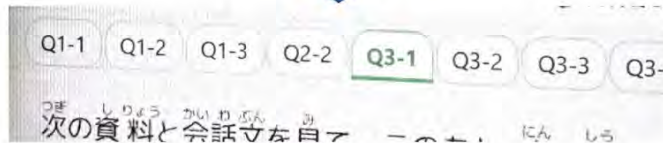
(実験結果を思い出して、Day 7
の植物がどのように変化したか
思い出しましょう)

思考・記述

問1. 実験結果に基づき、光の色が植物の成長にどのように影響する
か説明しなさい。



つぎの資料と会話する前に、このおと



大問だけでなく、小問もタブごとに表示

5今後のQubenaテストに期待

CBTデザインプロジェクト
CBTデザインプロジェクト

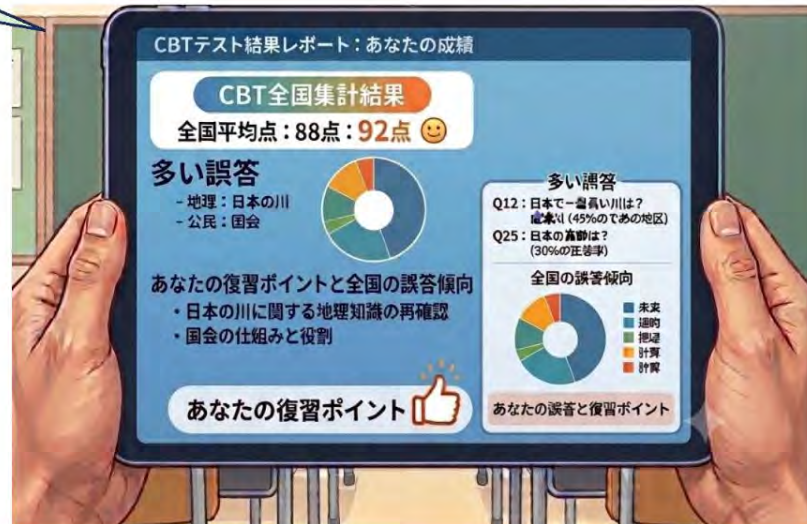
テスト結果のビッグデータ利活用を

全国のデータを集計・分析し、
結果や傾向を知りたい



例：単元や観点ごとの正答率や、誤答例等の情報の記載

テストが全国的にどの程度の正答率なのかが分ければ、
学習評価としてABCを付ける目安となる。



終わりに

教育委員会から
学校や保護者に
配信している
「学習評価だより」

テストが変わる
× 学びが変わる

ふじみ野市は テストをタブレットで

タブレット端末で行うテストを
「CBT」といいます。
ふじみ野市は小・中・高のテスト
をCBTに移行し、
令和5年度から
小学校1年生から
導入します。

ふじみ野市のCBT化は

単なる「テストのデジタル化」じゃない

保護者
教材費 **半減**

子供
テスト結果 **ファイードバック**

子供にとってのよさは？

学習の成果がすぐ分かり、次の学びの意欲へ！
結果に基づきA Iドリルがその子に合う出題を！

全部のテストがCBT？

小学校4～6年生のテストをCBT化！
国語の漢字や算数の図形など、一部の問題は紙で評価！

CBT化は、学習評価の見直しの一つです

学習評価の見直し
～多面的な評価へ～

テストの
CBT化

主体的な
学びづくり

多様な
評価方法

ふじみ野市教育委員会
学校教育課 指導係
☎049-220-2085



学習評価

子供たちを
いろんな角度から見る

テストの点数だけが
学力じゃない！

テストだけでなく
いろいろな学びの成果を
多面的に評価します

学校教育ではテストだけでなく、
例えば作文や新聞、ノートやワークシ
ートの記述、学習発表、作品などのさ
まざまな学びの成果をさまざまな角度
から評価して成績としてきました。
このような多面的な評価を今後より
一層推進していきます。
それにより、発表が得意な子、文章
表現が得意な子など、テストで測りに
くいさまざまな子供のよさや得意をし
っかり見届け、認め、さらに伸ばして
いけるようにします。
テストのCBT化等を通して、教師
が多面的に評価するための時間を創出
し、子供をより適切に評価します。

作品づくり

子供のよさや得意が見つかる！
子供がよさや得意を伸ばそうとする！
学びが楽しくなる！



“評価”を見直すプロジェクト

ふじみ野市教育委員会
学校教育課 指導係
☎049-220-2085

終わりに

ご清聴ありがとうございました

つながる
「CBT活用」と「探究的な学び」

他自治体における 「キュービナ テスト」活用事例

つながる
「CBT活用」と「探究的な学び」

全国の学校現場で活用をいただいています

2026年4月 正式リリース

小中学校向け
デジタルテスト(CBT)サービス

キュービナ
Qubena
テスト

単元の理解度がすぐ見える
次の学びとつながる

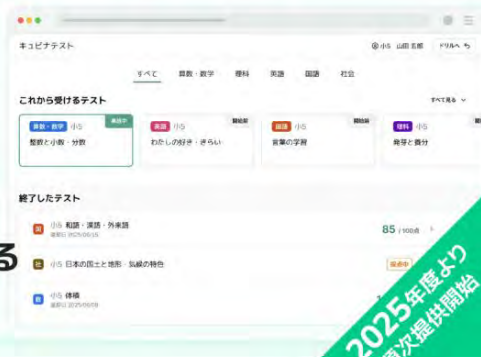
小中全学年 5教科 教科書対応

キュービナテスト

これから受けるテスト

終了したテスト

2025年度より
順次提供開始



豊田市の小学校の活用事例

☑ 従来のテスト教材とも組み合わせながら、多面的な評価の材料として活用・校内活用を推進

自治体採択の紙のテストと 併用しながら活用

- ・ 「単元の理解度の確認」や
定着確認の「月例テスト」と
して全校で活用（次ページ）
- ・ 多面的な評価の材料として

児童の取り組みを サポートする工夫

- ・ 低学年中心に実施前のチェック
や操作面のサポートを実施
- ・ 最低提出時間を設定して
「考える時間」を確保

段階的な 校内の活用推進

- ・ 先行事例や研修内容を
校内で共有し、
ベテランの先生の見解も
取り入れ段階的に活用拡大



全校での活用シーン設定（算数の例）

	算数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
0	予習	キュービナ・他社デジタルドリル・紙のドリルなど					
1	知る ※例題	新しい考え方を知る。					
2	使う① 理解する	教科書の練習問題					
3	使う② 反復練習	キュービナの単元問題とワークブック ・他社デジタルドリル・紙のドリルなど					
4	確認する① ※児童自身で	キュービナ 5分間復習(単元)					
5	単元の理解度の確認① ※デジタル	キュービナテスト					
6	単元の理解度の確認② ※紙	紙の単元テスト(自治体指定のもの)					
7	月例テスト ※一カ月の学習内容の定着確認	紙の定着確認テスト(先生が自作)				キュービナテスト	

各教科・学年の学習の流れの「単元の理解度の確認」や「月例テスト」のステップに「キュービナ テスト」を位置づけ、自治体で採用している紙のテストや先生自作のテストと組み合わせての活用を進めています。

豊田市の小学校の活用事例

☑ 従来のテスト教材とも組み合わせながら、多面的な評価の材料として活用・校内活用を推進

自治体採択の紙のテストと併用しながら活用

- ・ 「単元の理解度の確認」や定着確認の「月例テスト」として全校で活用（次ページ）
- ・ 多面的な評価の材料として

児童の取り組みをサポートする工夫

- ・ 低学年中心に実施前のチェックや操作面のサポートを実施
- ・ 最低提出時間を設定して「考える時間」を確保

段階的な校内の活用推進

- ・ 先行事例や研修内容を校内で共有し、ベテランの先生の見解も取り入れ段階的に活用拡大



導入効果

- 結果の**即時返却**で、**振り返りや解き直しへの意欲**を保ったまま次の学習へ
- 学年により「**紙よりも取り組みやすい**」という児童の反応
- 準備・採点・記録などの**業務負担を大幅削減**。**学習状況の把握**に時間を使いやすくなった
- **結果出力**（Excel）で、**保護者への共有や成績処理**を効率化

記憶が新しいうち
に振り返り

テストあたり
30分以上
の削減

福岡市の中学校の活用事例

- ☑️ すぐに結果が見えることで生徒の意欲的な振り返り・日々の学習のモチベーションに

シーン① 授業内での単元の振り返り

- ・ 授業内での単元の振り返りや重要語句の定着確認として自作の小テストを代替
- ・ 単元の学習終了後や定期試験の前後にキュビナ テストを活用

シーン② 受験前の復習教材として

- ・ 中学3年生の授業内容終了後、受験前の復習教材として
- ・ 紙の問題集だけでは不足しがちな問題数や難易度を補う形でキュビナ テストを活用



福岡市の中学校の活用事例

- ☑️ すぐに結果が見えることで生徒の意欲的な振り返り・日々の学習のモチベーションに

シーン① 授業内での単元の振り返り

- ・ 授業内での単元の振り返りや重要語句の定着確認として自作の小テストを代替
- ・ 単元の学習終了後や定期試験の前後にキュービナ テストを活用

シーン② 受験前の復習教材として

- ・ 中学3年生の授業内容終了後、受験前の復習教材として
- ・ 紙の問題集だけでは不足しがちな問題数や難易度を補う形でキュービナ テストを活用



導入効果

- 授業内の**即時返却**が可能になり、生徒が自分自身の**理解度をすぐ確認・意欲的に振り返り**できる
- テスト作成・採点などの**業務負担を大幅削減**、単元ごとの**定着確認の機会を無理なく確保**できるようになった
- **すぐ結果が見える** & **ドリルとテストが端末上でワンストップ**だから、単元ごとのテスト実施が生徒が日々のドリル学習に取り組む**モチベーション**に

返却後の教員への
質問が増えた

**働き方改革と
学習の質向上を両立**

**主体的な学び
のサイクルへ**

※複数の学校へのインタビューをまとめた内容です

つながる
「CBT活用」と「探究的な学び」

トークセッション

Q.

「学習評価改善」の手段として
CBTを選んだ理由・
従来の方法と比べて期待したことは？

Q.

プロジェクトの方向性と
「キュービナ テスト」が合致するポイントは？

Q.

**自治体主導のCBT化推進における
学校現場との連携・巻き込んでいく方法は？**

Q.

ふじみ野市におけるCBT活用の今後の展望

つながる 「CBT活用」と 「探究的な学び」

CBTによる可視化と教科連動の探究学習で “つながる” 主体的な学び のサイクル